

眼科に通院・入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や保管されている検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 悪性腫瘍におけるAmigo発現と臨床病理学的意義の解明

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 加瀬 諭・眼科 講師

[研究の目的]

当院ではぶどう膜悪性黒色腫の診断を受けた患者さんの摘出眼球、肝転移組織を共同研究者に送付してAmigoの発現について解析します。

[研究の方法]

対象となる患者さん

ぶどう膜悪性黒色腫の患者さんで、2000年1月1日～2018年7月31日の間に、当科を受診された方

利用する検体・カルテ情報

検体：切除された眼球組織、肝組織(同意をいただいてうえで当院で保管しているもの)

カルテ情報：

背景情報：年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、術後の肝転移・生命予後

血液学的検査結果：血液一般、白血球数、白血球分画

血液生化学的検査結果：総蛋白、アルブミン、Na、K

MRI、PETの画像検査結果

眼科的所見：術前視力、眼圧、細隙灯顕微鏡所見、眼底所見、超音波所見、蛍光眼底造影検査所見

病理組織学的検査結果

この研究は、病理研究グループで悪性腫瘍の患者さんの研究を行っている機関で実施します。上記の検体は、Amigoの発現の解析のために、鳥取大学に送付します。上記のカルテ情報は、Amigoの臨床病理学的検討の解析のために電子的配信で送付します。

2023年9月4日(第1.2版)

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に検体や情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院眼科 担当医師 加瀬 諭

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948